



2025年3月7日

各 位

RWA第3弾 ZoomARTトークン (ZMAT) との不動産RWA協業に関するお知らせ

～「ZoomART (ZMAT)」の不動産RWA化に向けた実装支援の開始！～

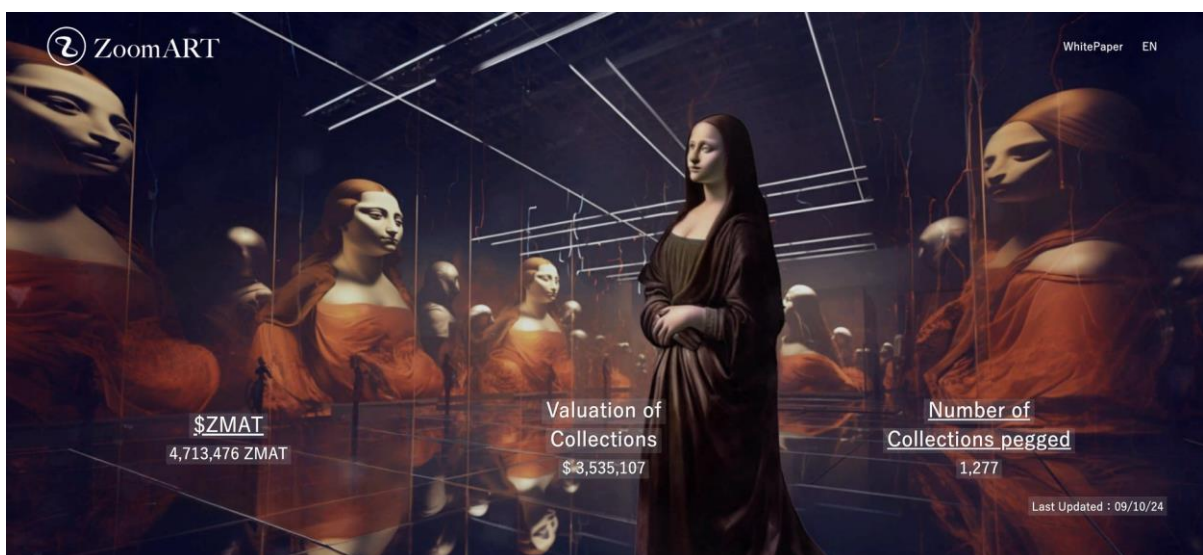
当社子会社であるGFA Capital 株式会社（以下、「GFA Capital社」といいます。）は、RWA本格参入の第3弾として、「ZoomART (ZMAT)」とのコラボレーションを通じ、不動産をRWA化させるための支援を開始いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

1. 不動産RWAに至る背景

当社は、2024年12月30日付「[『地方創生×RWA』を展開する、ZoomART Foundationのプロジェクトに参画！](#)」にて既報の通り、アート資産やコレクションアイテム等、現物資産を担保としたトークナイズ (RWA*) を展開するZoomART Foundation（本社：Republic of Panama、代表：Julia Martinez）と共同で、地域資産のRWA化を実現する地方創生モデルを構築していくプロジェクトに参加しております。

また、2025年1月16日付「[RWA第2弾 ZoomARTトークン \(ZMAT\) の上場支援に関するお知らせ](#)」にて開示の通り、当社グループがZMATの第二、第三取引所へのリスティング支援を行っております。

ZoomARTを運営するZoomART Foundationは、国内外に現存する、アート資産やコレクションアイテムを担保としてRWAトークンを展開している組織です。同法人の展開するRWAトークン“ZMAT”は、既に現物資産60億円以上の担保価値に支えられるトークンとして、ドバイに拠点を置く大手暗号資産取引所に上場しており（ZMAT時価総額：150億円相当、2025年3月7日現在）、一定程度の取引高を維持しながら、そのユニークなトークノミクスが市場から注目を集めております。



ZoomART Foundation : <https://zoomart.io/>

ZoomARTは、リアルに存在する現物資産をRWA化する技術的ノウハウを有しており、これまではリアルに触れるアートやコレクションアイテムを担保資産としてトークン価値にPeg（紐付け）してまいりましたが、同法人は、今般、不動産物件をRWA化させることで、ZoomARTの本源価値を高める取り組みを企図しており、当社と協議をした結果、GFA Capital社が展開するRWA第3弾のプロジェクトとしては最適であること、また、当社の祖業が不動産事業であり、不動産物件のRWA化においては両社に相応のシナジーが期待できることから、今回の決定に至りました。

2. ZoomArtトークン（ZMAT）を活用したRWA化の具体的な業務

ZoomART Foundationは、日本国内外で事業を展開するグローバルな企業群・組織（飲食・外資ホテル・太陽光・地方行政）から、不動産をRWA化する相談を受けており、同法人はこれらスキームを具現化するべく様々な検証・検討を重ねております。GFA Capital社は、緊密な関係のあるブロックチェーンテクノロジー企業からの技術的知見、自社で有する大手取引所とのコネクション、過去取り組んできたメタバース空間開発やフィンテックにまつわる事業運営ノウハウを有しており、ZoomArt Foundationの展開する事業に対して、技術的・事業的な助言を行うことができます。

また、にゃんまるコイン（\$NYAN）を初めとするミームコインへのディーリング事業を通じ、最先端の情報が得られる立場にあります。

今般の協業においては、両社共同で、不動産の物件をRWA化させることで、ZMATの時価総額最大化を目指すとともに、当社グループがそのアレンジメント対価としてZMATのインセンティブトークンをZoomART Foundationから頂くというスキームになります。

不動産保有事業者は、自社で有する不動産、あるいは投資目的で保有する不動産をRWA化することにより、（1）不動産売買の決済を暗号通貨建てで行いやすくなる、（2）RWA化させたトークンを担保供与することで、不動産価値に応じて、ZMATの利回りを享受することができる（例：1億円の物件、5%の利回り、ZMAT米3万ドル相当を毎年受領可能）、等のメリットが発生致します。また、不動産事業者にとっても、当該ZMATのRWA化を営業戦略に組み入れることで、（3）通常の投資利回りに加え、ZMAT利回りを合算した利率を自社商品のNet利回り率（運用率）、と定義することができ、不動産市場における物件の競争優位性が飛躍的に向上する、というベネフィットを享受することができます。

3. 不動産RWA化の実績

既に、ZoomART Foundationは、当社と連携し業務を進めていくなかで、不動産RWA化第一弾として、アイユーコンサルティンググループ（東京都豊島区、代表取締役社長：岩永 悠/代表取締役副社長：出川 裕基）の自社ビルをRWA化することを決定しております。

また、当社自身、祖業である不動産関連事業者から、不動産のRWA化についての問い合わせを受けていることから、今後、不動産RWA化を加速化せ、当社の掲げる長期ビジョンの達成に向けて尽力する所存です。

4. 不動産RWA化とESG

ZoomARTプロジェクトは、不動産・WEB3.0事業を推進する当社グループ、現物資産の管理を専門とするbetween the artsと連携し、文化的現物資産（アート、コレクションアイテム）のRWA化を通じ、直接的に文化保護に貢献していました。

収益不動産のRWA化においてもまた、文化保護に資する活動を実現させるべく、新たな仕組みとして、当該不動産RWAトークンの誕生に伴い増加するZMAT供給量の一部を、直接文化保護活動へのドネーションにすることとしました。

<寄付の対象>

ZoomARTプロジェクトでは、RWA化に参加している施設・組織を対象に、以下の分野へ寄付を行います。

1. 文化・芸術・歴史保護関連

- ・寺院・神社(文化財の保全、修繕)
- ・美術館・博物館(アートや歴史的遺産の維持)
- ・伝統工芸支援団体(職人や工芸品の保護)
- ・世界遺産保護団体(ユネスコ、文化財保護団体)

2. 教育・子ども支援

- ・子ども食堂(経済的に困難な家庭の子どもたちへの支援)
- ・奨学金財団(低所得層の学生への奨学金)
- ・学校・教育機関(IT教育、STEAM教育の促進)
- ・図書館・学習支援NPO(教育格差をなくす取り組み)

3. 社会福祉・医療

- ・赤十字・国境なき医師団(災害・医療支援)
- ・病院・医療研究機関(難病研究、医療機器の充実)
- ・障がい者支援団体(就労支援、生活支援)
- ・ホームレス支援NPO(生活再建プログラム)

4. 災害支援・人道支援

- ・災害復興支援NPO(地震、台風、津波の被災地支援)
- ・国際人道支援団体(貧困地域の支援、難民支援)
- ・食糧支援団体(フードバンク、飢餓対策)

5. 環境・サステナビリティ

- ・森林保護団体(植林・気候変動対策)
- ・海洋保全団体(プラスチックごみ削減、サンゴ礁保護)
- ・動物保護団体(絶滅危惧種の保護、野生動物保護)
- ・クリーンエネルギー推進団体(再生可能エネルギー普及)

6. ブロックチェーン・Web3関連

- ・クリプト教育・普及団体(Web3リテラシー向上)
- ・ブロックチェーン技術支援NPO(透明性のある寄付システム構築)
- ・分散型自治組織(DAO)(公共事業への投資、コミュニティ運営)

当社グループは、今後もZoomART Foundationと密に連携し、資産運用と文化保護を両立する新たなモデルを通じて、持続可能な社会を実現することを目指します。

今後も様々な分野でのパートナーシップを拡大し、RWAを活用した革新的な取り組みを推進していきます。

なお、本件が当社連結業績に与える影響などはございません。

■ 運営会社概要

会社名：GFA Capital 株式会社

所在地：東京都港区南青山二丁目2番15号ウィン青山 BIZ+

代表者：代表取締役 松田 元

事業概要：企業・ファンド等への投資及び投資先支援、投資運用に関するアドバイザー事業

以上